



大人気！の縄文村イベント

縄文グルメを食そう！ウニ



7月10日、大人気イベント「縄文グルメを食そう！ウニ」を開催し、40名のウニ好きさんが集まりました。

イベント冒頭は「縄文講座」。里浜貝塚からウニのトゲや口（アリストテレスの

ちょうちん）が出土すること、縄文人の骨から素潜りでウニを捕っていたことがわかるなど、貝塚からわかる「ウニ食の歴史」が解説され、皆さんは興味深く聞き入っていました。

とれたてのウニが配られ、さっそく石器を用いてウニの殻剥きに挑戦！常連さんは慣れた手つきでどんどんさばき、初挑戦の皆さんは、口を取っても動いているウニにびっくりしながら作業を進めました。

きれいに剥けたウニは、縄文土器によそったごはんの上に乗せてウニ丼にして、美味しく頂きました。

石器でウニの口のまわりを叩く。

石器

ウニの口を取り出す。

中を洗い、ワタを取る。

縄文的(?)
ウニの食し方。

縄文村長寿イベント

縄文教室【土器づくり】

7月23-24日、縄文村開館当時から行っている長寿イベント「縄文教室」を開催。3回コースの初回となる「縄文土器作り」に挑戦しました。



昨年度から、2日間かけて縄文土器の再現に挑む「本格派コース」と、土器作りを楽しむ「通常コース」に分けて行っている土器作り。合わせて50名の皆さんが集まりました。

2年目の開催となる本格派コースは、里浜貝塚から出土した土器を参考にする人もいれば、他の遺跡の縄文土器の再現に挑む人までさまざま。誰もが「去年よりもっと本物に近づけよう！」と、熱が入っていました。

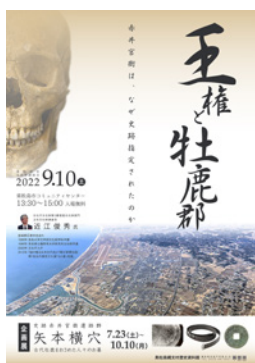


一方「通常コース」は、多くが初参加。当然、縄文土器作りもはじめて！

縄文土器の作り方は、粘土を丸めてつぶした底の上に、粘土紐を積み上げていく方法。粘土を転がして紐を作りますが、これが意外に難しい！「簡単そうなのに同じ太さにならない！」と苦戦する声も聞こえてきました。

なんとか土器を作り終えた皆さん、「イメージ通りにならなかったけど、楽しかった！」「今度は上手に作りたい」と縄文土器を楽しんでいた様子。作った土器は一か月乾燥させ、8月下旬に野焼きします。

東松島市文化財講演会 「王権と牡鹿郡」



日時 2022 9.10 (土)
13:30 ~ 15:00 (開場 13:00)

会場 東松島市コミュニティセンター

料金 入場無料

申込 要予約 / 定員になり次第メ切

講師 文化庁文化財
第2課埋蔵文化財部門
主任文化財調査官
近江俊秀氏



氏名・住所・電話番号を縄文村までお申込みください。

TEL 0225-88-3927 (水曜休館)
FAX 0225-88-3928



メールの方はこちら↑

縄文村、30周年をお祝い！

丸木舟の進水式！

3年かけて作った舟を水に浮かべます！

JALとコラボイベント。

よさこい、ゴスペル、縄文ジャズが登場！

30周年を盛り上げる、多彩なステージ。

パネル展

縄文村30周年を振り返ります。

奥松島縄文村まつり

2022 10.30 (日)
10:00 ~ 15:00

もちろん、縄文体験も！

来月縄文村は30周年を迎えます。「縄文村まつり」でお祝いしよう。